

令和2年度 第2回 大垣市図書館協議会 会議録（要旨）

- 1 と き 令和3年3月18日（木）14時～15時
- 2 ところ 大垣市立図書館3階 会議室
- 3 出席者 (委員)
田村弘司会長、石橋豊之副会長、臼井博彦委員、西田拓郎委員、
近藤則朗委員、藤井洋子委員、高橋麻衣子委員

(事務局)
山本教育長、寺嶋教育委員会事務局長、加代図書館長、
田中図書館主幹、長瀬図書館主幹、早崎図書館主幹
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 1名
- 6 次 第
 - (1) 議題
 - ① 令和3年度の事業計画（案）について
 - (2) 報告
 - ① 令和2年度3月補正予算について
 - ② 令和3年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について
 - (3) その他

1 開会 14:00

(事務局)

令和2年度第2回大垣市図書館協議会を開催する。

2 あいさつ

(山本教育長)

本日は年度末の多忙の中、図書館協議会にご出席いただき、感謝申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民の皆さまにご迷惑をおかけしているが、図書館では利用制限や講座の縮小などにより感染防止策を進めてきた。最近になり新規感染者数は落ち着いてきているが、来年度もコロナ禍は続くと思われる。

先日の市議会では、図書館へ行かず本に触れなくても図書を利用できる電子図書の導入・充実を進めてはどうかという意見をいただいた。これに対する市の見解として、電子書籍は高価なものであるため、貴重な専門書や郷土資料に限定して整理させていただき、民間で電子書籍を無償提供している企業と連携して整備させていただくという回答をさせていただいた。

いずれにせよ、市民の皆さまが安心して図書館を利用していただけるよう、これからもできる限り開館しながら、新型コロナウイルス感染拡大防止の充実に努めていきたい。

本日の図書館協議会では、来年度の計画やアンケート調査等について、委員の方々の積極的なご意見をいただきたい。

3 議題

(1) 令和3年度の事業計画（案）について

(田村会長)

(p.2) 図書館の予算について、来年度の当初予算が厳しい中で、図書館費は削減額が抑えられており、ありがたく思う。

(p.8) 主な館内展示等について、「お楽しみ袋による図書の貸出」は、3冊セットによる貸出ということで大変おもしろい企画だと思うが、こちらの利用や貸出状況はどのようになっているのか。

(事務局)

具体的な数字として提示できるものはないが、お楽しみ袋を提供している期間中は利用者が増え、子どもだけでなく大人向けのテーマのパッケージも用意したため、普段は読めない本を読むことができたという感謝の声を聞くことが

でき、大変好評だと受け止めている。

(田村会長)

たとえば、どのようなテーマを設定していたのか？

(事務局)

宇宙や今年の干支などをキーワードとして、司書が選書した。絵本も同様の方法で選書し、「普段は子どもが手に取らない本が入っており、読んでみたらおもしろかった」という声を聞かせていただくなど、良い反応が多くあった。

(田村会長)

司書の専門性がいかされる良い取り組みだと思う。

(事務局)

担当の司書も楽しみながら選書している。

(藤井委員)

普段は自分好みの本を借りてしまうため冒険する機会がないのだが、お楽しみ袋は中身が見えない形となっており、その中に日頃自分では選ばないような本も入っていて、おもしろい。中身が見えないからこそその楽しみもあり、逆に中身が見えてしまうようであれば、その段階で借りるのをやめてしまうかもしれない。親子で中身をあけるときはドキドキするし、新しい本の世界も広がるため、とてもすばらしいサービスだと思う。

(田村会長)

確かに中身が見えていれば、最初から借りないかもしれないし、そうした点では福袋を買う感覚に近いかもしれない。

(西田委員)

同じ企画を墨俣小学校でもやってもらったが、大人気だった。教育的効果として、子どもたちの読書の幅を広げるのにとっても役立ったと思う。英字新聞でラッピングした本のセットをサンタクロースからのプレゼントとして提供したところ、子どもたちは大喜びであった。

(田村会長)

こうした取組みは職員のレベルアップや、仕事のやりがいにもつながると思われる。

(石橋副会長)

(p.9)広報・PR活動等について、デジタルサイネージを導入されたとのことだが、その内容や画像は誰が作成しているのか。

(事務局)

作成は図書館職員が行い、展示の紹介で使った画像を取り込んだりしている。今は東日本大震災の展示をしているが、背景に当時の写真を使い、文字情報とともに紹介している。モニターの画面が大きく、目にとまる場所に設置しているため、来館者の方に立ち止まってよく見ていただいている。

(田村会長)

内容の更新は、どれくらいの間隔で行っているのか。

(事務局)

定期的な更新はしていないが、毎月展示替えを月末に行っているため、それに合わせて次の画像を準備し、切り替えていこうと考えている。

(田村会長)

先ほど山本教育長がデジタル図書について言及され、今後こうしたものが利用できるのは良いことだと思うが、図書館としてのデジタル図書に関する中長期的な計画はあるのか。

(事務局)

電子書籍は平成24年7月から導入しており、貴重な郷土資料や先賢マンガ等を公開しているが、現在のところ、一般書籍や児童書については取り扱っていない。3月議会で電子書籍に関する質問があったため、今後は電子書籍の充実について検討していきたい。

(山本教育長)

電子書籍の導入は、本市は県内で早い方である。郷土資料はホームページ上でも閲覧できるようになっているが、一般図書を電子書籍としてライセンス購入すると期限があり、実際の本よりも高くなってしまいうため、そこがネックとなっている。そのため、比較的提供しやすい状況のものを探しながら提供させていただくという方向で、当面は進めていきたい。

(田村会長)

専門書などは当然そうした対応が必要だと思うが、多くの市民は一般の小説などを読みたいという要望が高いと思われるため、計画的に少しずつでも電子書籍を導入されると良いと思う。

4 報告

(1) 令和2年度3月補正予算について

(田村会長)

トイレのスイッチを感知式にすると衛生的にも良いと思われるが、図書館内のトイレのスイッチはどうなっているのか。

(事務局)

館内のトイレのスイッチは、事務所や各フロアのカウンター後方に設置しており、職員が電源オン／オフの操作するため、利用者が触れることはない。

(田村会長)

感知式のスイッチは新庁舎で導入されており、節電や衛生対策ともに有効であるため、今後の導入について留意していただければありがたい。

3月補正予算により新型コロナウイルス感染拡大防止のための保健衛生用品を購入することについては、図書館の衛生対策をいっそう充実させていくためのものであるため、特に問題ない。

(2) 令和3年度図書館の利用に関するアンケート調査の実施について

(石橋副会長)

問19の「今後の図書館に必要なサービスについて教えてください」の項目について、電子書籍の導入についての検討や、問8と問9の設問にも相関性があるため、一般電子書籍の貸出に関する項目は設定してはどうか。

(事務局)

一般図書で電子書籍の貸出について、項目を追加させていただく。

(田村会長)

今はニュースや情報収集はスマホ等が主流となり、新聞を読むことが少なくなった。新聞には新聞の良さがあるのだが、簡単な情報収集はすべてスマホで済ませてしまうため、いずれ新聞が消える時代が来るのではないかとも言われ

ている。スマホも新聞も、それぞれの長所・短所があるため、どちらが優れているとは断言できないが、図書館は地域の情報拠点として、紙媒体だけでなく、さまざまなメディアに対応していくことが必要かもしれない。

(臼井委員)

アンケート調査は来館者を対象に実施されていると思うが、広く一般市民に図書館を知ってもらい、図書館の利用度を上げるためのアンケート調査も必要であるため、対象者を拡大するのが望ましい。『広報おおがき（令和3年2月15日号）』に図書館の記事が掲載されたように、市の広報紙も活用して、図書館の魅力を発信・PRしてもらいたい。

(田村会長)

広く市民の方に図書館を知ってもらうことは大事なことである。『図書館だより』は町内の回覧板に入れているのか。

(事務局)

『図書館だより』は班回覧をしていない。班回覧となると6000～7000部ほどを発行する必要が生じ、広報グループとの調整も必要となる。

(田村会長)

予算的な制約もあるだろうが、できる範囲で配付部数を増やしてもらえればありがたい。一方、来年度の事業計画にも掲げているフリーペーパーの活用は良いことだと思う。フリーペーパーは市民もよく見ているので、積極的に情報提供をしてもらいたい。

来館者を対象にアンケート調査を実施すると、一般的な声が集まるのかという懸念が生じ、特定の限られた集団を対象にしたアンケートというイメージになってしまう。対象枠をもっと広げるという視点で見れば、できるだけ多方面にわたり実施できるような方法をとるのが理想であるため、ぜひ図書館の職員に知恵を絞っていただきたい。

要求されたことすべてを実現することはできないが、その中でやれることを少しずつでもやっておけば、状況は改善されていくと思う。同じ範囲でやっていると、多分毎回同じような結果となり、代わり映えのないものになってしまうため、広く市民の方に図書館の意義などを浸透させるためには、アンケートの調査対象を広げるのは大切なことだと思う。

(石橋副会長)

同じような結果ということだが、経年的な変化などはどうなっているか。

(事務局)

結果を分析すると、さほど状況は大きく変わっていない。

(田村会長)

評価委員会でも結果が出てくるが、こちらでも毎回同じような結果が出てくるのではなかったか。

(山本教育長)

これまでの評価委員会は市民アンケートが中心だったが、今度はアンケートではない評価指標に変えてある。

5 その他

(事務局／お知らせ)

- (1)『広報おおがき（令和3年2月15日号）』の特集記事において、各種サービスや施設の紹介など、図書館の取り組みや魅力を発信した。
- (2)学校と図書館との連携事業が高く評価され、令和2年度の「西濃地区学校図書館教育賞」で墨俣小学校が最優秀賞を受賞された記事を『大垣市図書館だより（令和3年3月号）』に掲載した。
- (3)図書館が取り上げられた新聞記事として、SDGsに関する図書や利用者の取り組みを紹介するコーナーを設置した記事が令和3年1月19日の中日新聞に掲載された。
- (4)次回の協議会は、令和3年6月頃に開催予定。

6 閉会 15:00